

めぐみの学校の子

恵田小 校長室だより
平成三十一年三月二十二日

No. 123

里山整備に思う

少し前になるが、県の里山整備事業によって、学校前の様子が大きく変わった。竹やぶと雑木の林だったのが、ほとんどの竹が切られ、雑木も相当数切った。かなりすっきりとした印象になった。



たくさんの野鳥が来る場所だったので、大丈夫かと心配になった。野鳥の会の方お聞きしたところ、竹やぶが好きな野鳥以外が来るようになり、増えるだろうとのことだった。このごろは、夜にフクロウの声が聞こえるときがあるそうだ。

今日修了式だったが、すぐに4月を迎えることになる。来年度の学校経営について考えている。学校では、学校教育の基準となる学習指導要領をベースに、各学校が学校や地域の特色を生かしながら学校運営を行っている。来年度は、学習指導要領が変わる前年、準備期間となる。それに伴い、5・6年生では英語活動から教科の英語にかわる準備として、週2時間授業が行われる。各教科にプログラミング教育という学び方が入ってくる。おもに、情報機器を活用するなかで養われる思考力や判断力を問題解決に生かしていくというものである。

少しずつ変わりゆく学校の在り方。新しいものを加えればよいというものでもない。また、減らすとしても、なくなるだけでは意味がない。よさや特色がより生かせるように改革を進めたい。恵田小にはずっと続けてきた価値あることがたくさんある。恵田小のよさがより生きるようにしたい。



恵田っ子へ スタート!

学校生活(がっこうせいかつ)の一年のなかで、卒業式(そつぎょうしき)の日がいちばんよい日になることが学校のめあての一つです。

卒業式の日、6年生は卒業生らしくりっぱな態度(たいど)で、在校生(こせい)をこめて6年生を送(おく)り出(だ)すことができました。本当(ほんとう)によい卒業式(そつぎょうしき)にすることができました。恵田(恵田)っ子のいちばんよい姿(すがた)が出(で)た日(ひ)となりました。



さあ、今日(きょう)からスタートです。来年(らいねん)の卒業式(そつぎょうしき)の日に最高(さいこう)の恵田(恵田)っ子(こ)になれるように、じっくりと、一つ一つのことに取(と)り組(く)んでいきましよう。それぞれの一日(いちにち)が来年(らいねん)の卒業式(そつぎょうしき)につながります。よい春休(はるやす)みをすごし、来年度(らいねんど)の恵田(恵田)小(こ)をみなでつくっていきましよう。